

仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会

姿を変えるニュートリノと ニュートリノの小さい質量



講師 東京大学宇宙線研究所長・教授

梶田 隆章 博士

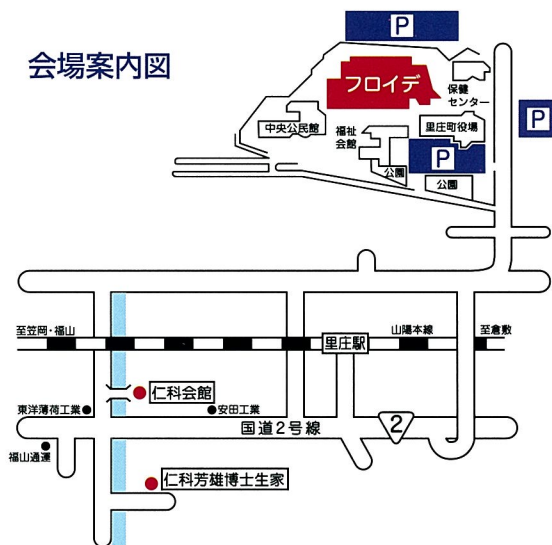
プロフィール

1959年、埼玉県東松山市生まれ。物理学者。東京大学特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所長。同研究所助手、助教授、教授を経て現職。岐阜県飛騨市の神岡鉱山の地下1000メートルに設置された実験装置「カミオカンデ」と「スーパーカミオカンデ」を使った実験に参加。「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、2015年にノーベル物理学賞を受賞した。文化勲章等を受賞。現在は、それぞれ3kmの腕の長さを持つL字型のトンネルの中で建設中の、大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」のリーダーも務める。

講演概要

ニュートリノは観測することが難しく、近年までニュートリノには質量がないと思われていました。しかし、宇宙線と呼ばれる宇宙から飛来するエネルギーの高い粒子が大気中でつくるニュートリノを観測し、1998年ニュートリノの種類が飛行中に別な種類のニュートリノに変化するニュートリノ振動という現象が発見され、ニュートリノに小さい質量があることがわかりました。この観測は、岐阜県飛騨市神岡にあるスーパーカミオカンデという巨大な測定器を使ってなされました。本講演ではどのように姿を変えるニュートリノとニュートリノの小さい質量が発見されたのかについてお話しし、そしてその意義などにも触れたいと思います。

会場案内図



■ アクセス
JR山陽本線 里庄駅下車 徒歩…20分 タクシー5分

日時 平成29年12月10日(日) 13:30~14:45

会場 里庄総合文化ホールフロイデ大ホール

参加費 無料

参加申込 仁科会館へ
郵便・電話・ホームページ・FAX等でお申込み下さい。
〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中892-1
TEL・FAX 0865-64-4888
URL: <http://www.kagaku.nishina.town.satosho.okayama.jp>

主催 公益財団法人 科学振興仁科財団
里庄町・里庄町教育委員会

後援 岡山県教育委員会・RSK山陽放送・岡山県ケーブルテレビ振興協議会・山陽新聞社・朝日新聞岡山総局・中国新聞備後本社・読売新聞岡山支局・毎日新聞岡山支局